

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2023年32週（8月2週 8/7～8/13）
2023年7月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619（企画情報部）

今週の内容

◇トピックス

咽頭結膜熱、COVID-19、ダニ媒介感染症の予防啓発、
夏季休暇の海外渡航者に対する感染症予防啓発、
ヘルパンギーナ

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

COVID-19、ヒトメタニューモウイルス感染症、
インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌感染症
等

◇全数把握感染症発生状況（ ）内は件数。

結核(19)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、デング熱(1)、
レジオネラ症(3)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌
感染症(1)、急性脳炎(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感
染症(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性
髄膜炎菌感染症(1)、梅毒(14)、播種性クリプトコク
ス症(1)、百日咳(1)

◇2023年7月報

◇定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ 咽頭結膜熱（図1）

32週の定点当たり報告数は0.46、31週78人→32週84人（1.08倍）です。

【参考ページ】咽頭結膜熱とは（厚生労働省） <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou17/01.html>

◆ COVID-19

32週の定点当たり報告数は20.70、31週3,874人→32週4,036人（1.04倍）です。

【参考ページ】愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト <https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>

◆ ダニ媒介感染症の予防啓発

【参考ページ】ダニ媒介感染症（厚生労働省） <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

◆ 夏季休暇の海外渡航者に対する感染症予防啓発

【参考ページ】海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

厚生労働省検疫所（FORTH） <https://www.forth.go.jp/index.html>

◆ ヘルパンギーナ（図2）【8月17日警報解除】

32週の定点当たり報告数は1.13で、警報継続の指標（定点当たり報告数2）を下回ったことから、愛知県は8月17日にヘルパンギーナ警報を解除しました。31週388人→32週206人（0.53倍）です。2023年に病原体定点等から寄せられた検体からはコクサッキーウイルス（A2 11件、A4 4件）が検出されています。

【参考ページ】ヘルパンギーナ警報を解除します（愛知県 8月17日）

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/herpan-kaijyo0817.html>

ヘルパンギーナ（愛知県） <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/herpangina.html>

疾患別ウイルス検出状況（速報）（愛知県） <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

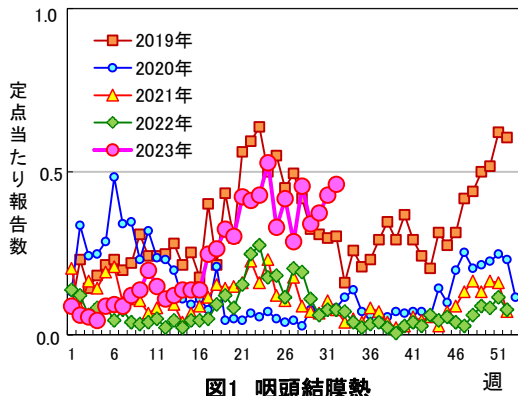


図1 咽頭結膜熱

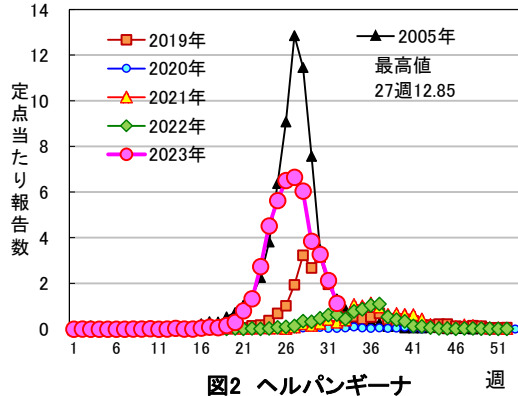


図2 ヘルパンギーナ

病原体検出情報 —2023年疾患別ウイルス検出速報— (2023年8月15日現在)									
	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ	麻疹・風疹
								2022/2023シーズン	
患者数	56(1)	5	29(2)	9	-	9	4	212(6)	14(1)
CV-A2	-	-	11(1)	-	-	-	-	-	-
CV-A4	-	-	4	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	1	-	-	-	-	-	-	-
HRV A	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-
HPeV-3	1(1)	-	-	-	-	1	-	-	-
Flu AH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	14(2)	-
Flu AH3	-	-	-	-	-	-	-	176(2)	-
Flu B(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	4	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	2
HPIV-3	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)
HPIV-4	-	-	-	-	-	-	-	1	-
RV-A	-	-	-	-	-	1	-	-	-
NV-GII	20(1)	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	9	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	2	-	-	-	-	-
Ad-2	1	-	-	3	-	-	-	-	-
Ad-41	1	-	-	-	-	-	-	-	-
検査中	10	4	13	4	-	4	-	7	3
陰性	16(1)	-	-	-	-	4(1)	4(1)	10	7(1)

()内の数は前回の情報からの増加分を示す(再掲)

インフルエンザは2022/2023シーズン(22年9月~)の結果

麻疹・風疹の数は病原体定点医療機関外からの患者数及びウイルス検出数を含む

略:ウイルス名

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス、EV: エンテロウイルス、Flu AH1pdm09: インフルエンザウイルス AH1pdm2009、

Flu AH3: A香港型インフルエンザウイルス、Flu B(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

HRV: ヒトライノウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、MeV: 麻疹ウイルス、

NV: ノロウイルス、RV: ロタウイルス、SV: サポウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- ヒトメタニューモウイルス感染症
3人(1歳、4歳、5歳)
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- COVID-19 5例
RSV 11例
溶連菌 3例
hMPV 2例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- COVID-19 25件
A型インフルエンザ 3件
溶連菌が18件と多めでした。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- コロナ抗原検査陽性 9名
胃腸風邪 2名
【清須市 丹羽医院】
- インフルA 1例
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】
- カンピロバクター腸炎 7歳男1名
【一宮市 さかたこどもクリニック】

尾張東部地区

- ヒトメタニューモ 11件
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 感染性胃腸炎 2名
ヘルパンギーナ 2名
COVID-19 23名
【南知多町 医療法人大岩医院】
- ヒトメタニューモ
1歳男1名、5歳男1名、1歳女1名
【武豊町 なかしまキッズクリニック】
- 該当なし
【常滑市 常滑市民病院】
- 3歳女 アデノウイルス
水痘 1名
COVID-19 4名
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

- Covid-19 5例
溶連菌 2例
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ感染症 5例(全てA型)
COVID-19 15例中6例が乳児(全て親からの感染)
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザA 1名
【岡崎市 栗屋医院】
- COVID-19 3名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- ヒトメタニューモウイルス 時々います。
1歳女1名、4歳男2名、4歳女1名
【碧南市 永井小児クリニック】

東三河地区

- インフルエンザA/B同時陽性 1名
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院】
- ヒトメタニューモウイルス 9人
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2023年8月16日現在

一類～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun230526.pdf

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2023年32週報告数			2023年総計(1～32週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	4	1		251	46	94
豊田市	1			20	6	4
豊橋市	1		1	31	4	13
岡崎市	1	1		17	8	2
一宮市	1	1		36	14	11
瀬戸				49	9	17
半田				8	2	2
春日井	1			24	3	9
豊川	2	1		21	4	7
津島	4	1	2	39	7	10
西尾				14	2	5
江南	4	1	1	29	6	5
新城				4	1	2
知多				24	1	8
清須				14	1	3
衣浦東部				27	2	8
合計	19	6	4	608	116	200

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	32歳	女	-/-	8/9	8/11	O157、VT1(+) VT2(+)
2	名古屋市	7歳	女	-/-	8/9	8/11	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
3	名古屋市	29歳	男	-/-	8/7	8/10	O血清型不明、VT1(+) VT2(+)
4	豊川	91歳	女	8/3	8/8	8/10	O157、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **デング熱（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	21歳	女	デング熱	ラオス

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	瀬戸	73歳	男	肺炎型	国内
2	西尾	59歳	男	肺炎型	国内
3	江南	56歳	男	肺炎型	国内

● **カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	69歳	男	医療器具関連感染	国内	無

● **急性脳炎（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	3歳	男	病原体不明	国内
2	豊川	36歳	女	病原体不明	国内

● **劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	春日井	70歳	女	国内

● **侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	一宮市	68歳	女	不明	国内

● **侵襲性髄膜炎菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	共同生活	感染地域
1	名古屋市	21歳	男	不明	国内

● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	20歳	女	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	50歳	女	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	24歳	女	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	37歳	女	無症候	不明	不明
5	名古屋市	51歳	女	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	67歳	男	無症候	性的接触	国内
7	名古屋市	55歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	一宮市	32歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	津島	75歳	男	早期顕症	性的接触	不明
10	津島	14歳	女	早期顕症	性的接触	国内
11	江南	33歳	男	早期顕症	性的接触	国内
12	江南	31歳	男	無症候	性的接触	国内
13	知多	25歳	男	早期顕症	性的接触	国内
14	清須	42歳	女	早期顕症	性的接触	国内
● 播種性クリプトコックス症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	感染原因・感染経路	感染地域	
1	瀬戸	82歳	男	不明	不明	
● 百日咳（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等	
1	豊田市	33歳	女	不明	家族内感染	

2023年7月報

(2023年8月10日現在、診断週(新型コロナウイルス感染症は報道発表日)に基づく集計)

7月の一～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

	2022～2023年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2023年7月			2023年	2022年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	【対象となる7疾病】	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	51 (14)	34 (15)	85 (29)	561 (188)	1,080 (345)
新型インフルエンザ等 (4) *	新型コロナウイルス感染症 *	-	-	-	276,991	1,737,899
三類 (5)	腸管出血性大腸菌感染症	10 (3)	8 (2)	18 (5)	53 (13)	154 (29)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	5	2
	A型肝炎	0	0	0	1	1
	エムポックス **	0	0	0	2	0
	オウム病	1	0	1	1	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	2	17
	デング熱	0	0	0	4	9
	日本紅斑熱	0	0	0	2	5
	マラリア	0	0	0	2	3
	ライム病	1	0	1	1	0
	類鼻疽	0	0	0	0	2
	レジオネラ症	13	3	16	67	163
	レプトスピラ症	0	0	0	1	1
五類 (24)	アメーバ赤痢	2	1	3	22	31
	ウイルス性肝炎	0	0	0	7	6
	内訳 B型	0	0	0	4	5
	内訳 その他	0	0	0	3	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 **	6	5	11	88	161
	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	0	2
	急性脳炎	4	0	4	21	24
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	3	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	1	4	40	53
	後天性免疫不全症候群	2	6	8	59	70
	内訳 無症候性キャリア	1	6	7	41	45
	内訳 AIDS	1	0	1	18	22
	内訳 その他	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	5	28	22
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	2	7	78	100
	水痘(入院例に限る。)	1	1	2	16	23
	梅毒	28	41	69	523	768
	内訳 無症候	6	14	20	134	185
	内訳 早期頭症	21	26	47	377	571
	内訳 晩期頭症	1	0	1	9	11
	内訳 先天梅毒	0	1	1	3	1
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	5	9
	破傷風	2	0	2	4	6
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2	0
	百日咳	0	3	3	22	10
	麻しん	0	0	0	2	0
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	3	0
	総計	132	107	239	278,619	1,740,643

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症」の位置付けがCOVID-19として5類感染症の定点把握に変更されたため、上記表には2023年5月7日分までを計上しています。

** 2023年5月26日から以下の2疾病について、届出基準及び届出様式が改正されました。

(改正前)サル痘→(改正後)エムポックス

(改正前)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症→(改正後)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名		2023年7月			2023年 累計		2022年 総計		
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					合計	合計	合計	合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	29	78	107	825	1,324	1,385	2,148
		女	54	19	73	499		763	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	13	20	33	261	457	375	728
		女	18	9	27	196		353	
	尖圭コンジローマ	男	11	22	33	190	266	344	467
		女	6	8	14	76		123	
	淋菌感染症	男	21	41	62	388	462	827	953
		女	6	4	10	74		126	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		80	1	81	443		772	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1	0	1	14		27	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2023年7月			2023年 累計		2022年 総計	
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	0	0	0	0		3	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2023年5月8日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (49疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型新型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症(政令で指定、一年限定)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の位置付けが5類感染症の定点把握に変更されました。

グラフ総覧

2023年32週(8月7日～8月13日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2023年32週までの定点(インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

